



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（非連結）

2025年11月14日

上場会社名 中部水産株式会社 上場取引所 名
コード番号 8145 URL <https://www.nagoya-chusui.co.jp>
代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）脇坂 剛
問合せ先責任者 （役職名）取締役 管理統括本部長 （氏名）臼井 敬人 TEL 052-683-3000
半期報告書提出予定日 2025年11月14日 配当支払開始予定日 2025年12月10日
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	17,743	△1.6	234	26.7	355	26.3	259	39.8
2025年3月期中間期	18,039	0.3	185	10.4	281	10.1	185	△12.9

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	158.47	—
2025年3月期中間期	112.35	—

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期中間期	17,520	13,790	78.7
2025年3月期	16,021	13,239	82.6

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 13,790百万円 2025年3月期 13,239百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	40.00	—	45.00	85.00
2026年3月期	—	40.00	—	—	—
2026年3月期（予想）	—	—	—	45.00	85.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年3月期の業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	35,760	△2.7	355	7.5	502	0.0	340	2.9	207.64

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期中間期	1,926,900株	2025年3月期	1,926,900株
② 期末自己株式数	2026年3月期中間期	289,494株	2025年3月期	289,449株
③ 期中平均株式数（中間期）	2026年3月期中間期	1,637,426株	2025年3月期中間期	1,652,666株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料の2ページ「1. 経営成績等の概況（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 中間財務諸表及び主な注記	3
(1) 中間貸借対照表	3
(2) 中間損益計算書	5
(3) 中間キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 中間財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等の注記)	7

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間会計期間における当社を取り巻く環境は、インバウンド需要の堅調さと、賃上げによる雇用・所得環境の向上が続いており、景気は緩やかに回復しております。一方で、国際的な紛争や米国の関税政策の影響による景気の下振れリスク、物価上昇による節約志向の高まりなど、先行きには不透明感があります。

このような状況の中、売上高は卸売部門の取り扱いが減少するなど、全体で17,743百万円(前年同期比1.6%減)となりました。経常利益は、主に冷蔵倉庫部門での好調な稼働が売上総利益を押し上げたことに加え、営業外収益である受取配当金が増加した結果、355百万円(前年同期比26.3%増)となり、四半期純利益は、259百万円(前年同期比39.8%増)となりました。

今後につきましては、当社は、多様化する消費者ニーズに対応するため、広範な情報収集や企画提案力を強化し、荷主や販売先とのコミュニケーションを深め、売上拡大に努めてまいります。一方、組織においては業務の効率化や環境の変化に対応した組織づくりを行い、企業体質の強化を図ってまいります。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

(卸売部門)

鮮魚は、量販店向けの商品提案に注力し真ダラやサーモンなどの販売、サンマの豊漁で好調に推移しましたが、その他の天然魚の不漁や養殖魚で在池不足による入荷減があり、マグロも相場の高騰が影響し取り扱いが減少しました。

塩冷加工品は、冷カニの販売が伸長しましたが、食品全体の価格上昇に伴う消費鈍化により、主力である鮭鱒、凍魚類の取り扱いが減少しました。

売上高はこれらの要因により減少となりましたが、営業利益は利益率改善等により増加しました。

この結果、売上高は卸売部門全体で17,356百万円(前年同期比1.9%減)、営業利益は218百万円(同10.7%増)となりました。

(冷蔵倉庫部門)

回転率の高い生鮮品や超低温冷凍貨物の入庫が堅調に推移したことに加え、外国貨物の入庫が増加し庫腹率が高水準で推移した結果、売上高は269百万円(前年同期比15.9%増)、営業利益は104百万円(同63.3%増)となりました。

(不動産賃貸部門)

不動産賃貸部門の売上高は118百万円(前年同期比0.0%増)、営業利益は83百万円(同1.9%減)となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

① 財政状態の変動状況

当中間会計期間末における総資産は、17,520百万円となり、前事業年度末に比べ1,499百万円(9.4%)増加しました。これは主に、投資有価証券537百万円、土地360百万円、商品245百万円、現金及び預金236百万円の増加によるものです。

負債は、3,730百万円となり、前事業年度末に比べ948百万円(34.1%)増加しました。これは主に、買掛金785百万円の増加によるものです。

純資産は、13,790百万円となり、前事業年度末に比べ550百万円(4.2%)増加しました。これは主に、その他有価証券評価差額金364百万円、利益剰余金185百万円の増加によるものです。

② キャッシュ・フローの状況

当中間会計期間における現金及び現金同等物は、投資活動の結果、有形固定資産の取得による支出等により451百万円、財務活動の結果、配当金の支払額等により73百万円それぞれ減少となりましたが、営業活動の結果、仕入債務の増加等により714百万円増加となったため、前事業年度末に比べ189百万円(3.7%)増加し、当中間会計期間末には5,309百万円となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当中間会計期間は、業績予想の想定内で推移しており、2025年5月13日発表の通期の業績予想は変更しておりません。

2. 中間財務諸表及び主な注記

(1) 中間貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (2025年3月31日)	当中間会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,355,849	5,592,282
売掛金	1,752,062	1,947,835
商品	2,199,159	2,444,939
貯蔵品	6,624	6,426
その他	123,481	34,516
貸倒引当金	△6,327	△6,126
流動資産合計	9,430,850	10,019,874
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	620,537	605,693
土地	1,955,249	2,315,964
その他(純額)	22,575	34,917
有形固定資産合計	2,598,362	2,956,575
無形固定資産	37,898	50,451
投資その他の資産		
投資有価証券	3,799,643	4,336,918
関係会社長期貸付金	80,000	80,000
その他	739,152	738,962
貸倒引当金	△664,452	△662,011
投資その他の資産合計	3,954,342	4,493,869
固定資産合計	6,590,603	7,500,896
資産合計	16,021,453	17,520,771
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,374,095	2,159,253
受託販売未払金	158,545	154,092
未払法人税等	84,080	87,020
賞与引当金	50,689	49,730
役員賞与引当金	12,700	—
その他	262,940	214,463
流動負債合計	1,943,051	2,664,560
固定負債		
退職給付引当金	323,251	319,092
その他	515,275	746,895
固定負債合計	838,527	1,065,987
負債合計	2,781,578	3,730,548

(単位: 千円)

	前事業年度 (2025年3月31日)	当中間会計期間 (2025年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,450,000	1,450,000
資本剰余金	1,045,772	1,045,772
利益剰余金	10,295,963	10,481,762
自己株式	△946,137	△946,264
株主資本合計	11,845,597	12,031,269
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,394,277	1,758,953
評価・換算差額等合計	1,394,277	1,758,953
純資産合計	13,239,874	13,790,222
負債純資産合計	16,021,453	17,520,771

(2) 中間損益計算書

(単位:千円)

	前中間会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	18,039,833	17,743,987
売上原価	17,091,913	16,723,815
売上総利益	947,919	1,020,172
販売費及び一般管理費	762,825	785,656
営業利益	185,094	234,516
営業外収益		
受取利息	4,741	9,342
受取配当金	57,199	80,422
受取手数料	11,158	10,863
その他	23,516	20,462
営業外収益合計	96,614	121,090
営業外費用		
雑損失	183	0
営業外費用合計	183	0
経常利益	281,525	355,606
特別損失		
過年度決算訂正関連費用	42,314	—
特別損失合計	42,314	—
税引前中間純利益	239,211	355,606
法人税、住民税及び事業税	54,118	85,939
法人税等調整額	△578	10,182
法人税等合計	53,539	96,121
中間純利益	185,671	259,484

(3) 中間キャッシュ・フロー計算書

(単位: 千円)

	前中間会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間純利益	239,211	355,606
減価償却費	32,962	27,438
過年度決算訂正関連費用	42,314	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△15,233	△2,642
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	—	△12,700
賞与引当金の増減額(△は減少)	920	△959
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△163	△4,158
受取利息及び受取配当金	△61,940	△89,764
売上債権の増減額(△は増加)	24,190	△254,849
棚卸資産の増減額(△は増加)	△236,349	△245,582
仕入債務の増減額(△は減少)	△519,569	780,704
未払金の増減額(△は減少)	△10,053	△9,799
未払費用の増減額(△は減少)	6,116	4,918
未払消費税等の増減額(△は減少)	△279,991	11,841
その他	△16,193	150,615
小計	△793,779	710,669
利息及び配当金の受取額	61,371	89,321
法人税等の支払額	△66,625	△85,190
過年度決算訂正関連費用の支払額	△74,808	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	△873,841	714,800
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の償還による収入	300,000	—
定期預金の預入による支出	△221,200	△259,500
定期預金の払戻による収入	323,700	212,500
有形固定資産の取得による支出	△5,428	△379,045
無形固定資産の取得による支出	—	△19,159
投資有価証券の取得による支出	△102,605	△3,283
その他	—	△3,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	294,466	△451,488
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△89,267	△126
配当金の支払額	△75,203	△73,718
財務活動によるキャッシュ・フロー	△164,471	△73,845
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△743,846	189,466
現金及び現金同等物の期首残高	5,896,561	5,120,501
現金及び現金同等物の中間期末残高	5,152,714	5,309,968

(4) 中間財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに
収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	中間 損益計算書 計上額 (注) 2
	卸売部門	冷蔵倉庫 部門	不動産賃貸 部門			
売上高						
顧客との契約から 生じる収益	17,688,947	232,818	—	17,921,765	—	17,921,765
その他の収益	—	—	118,068	118,068	—	118,068
外部顧客への 売上高	17,688,947	232,818	118,068	18,039,833	—	18,039,833
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	72,785	—	72,785	△72,785	—
計	17,688,947	305,603	118,068	18,112,619	△72,785	18,039,833
セグメント利益	197,375	64,147	84,946	346,470	△161,375	185,094

(注) 1 セグメント利益の調整額△161,375千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、中間損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当中間会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに
収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	中間 損益計算書 計上額 (注) 2
	卸売部門	冷蔵倉庫 部門	不動産賃貸 部門			
売上高						
顧客との契約から 生じる収益	17,356,117	269,759	—	17,625,877	—	17,625,877
その他の収益	—	—	118,110	118,110	—	118,110
外部顧客への 売上高	17,356,117	269,759	118,110	17,743,987	—	17,743,987
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	78,388	—	78,388	△78,388	—
計	17,356,117	348,148	118,110	17,822,376	△78,388	17,743,987
セグメント利益	218,570	104,721	83,336	406,629	△172,112	234,516

(注) 1 セグメント利益の調整額△172,112千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、中間損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。